

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支援部門 環境-06 分別運営事業									
主管課	資源循環課				関連課		環境センター			
分野名	生活環境									
目標 (目標値)	廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指す。平成27年度のリサイクル率を60%とする。									
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考		
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯				
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	428,149		581,018		876,266				
	(国・県)									
	(負担金等)	152,915		169,937		271,707				
	(一般財源)	275,234		411,081		604,559				
	人員配置数	3.0人		3.5人		3.5人				
	人 件 費(千円)	24,195		30,263		31,287				
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	452,344		611,281		907,553				
	市民1人当りの経費(円)	2,543		3,449		5,122				
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	藤沢市	逗子市	横須賀市	横浜市				
	1人当たりのごみ排出量	1,037g	906g	919g	984g	910g	※平成24年度 データ			
	リサイクル率R'	47.8%	30.4%	28.0%	33.9%	25.4%	※平成24年度 データ			
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
ごみ焼却量	◎	目標値	39,700t	39,745t	38,523t	37,406t	29,923t			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	40,389t	39,100t	37,891t	36,622t				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
分別運営事業	425,780	ごみ資源化事業の一部	444,016	今後の 方向性	A	理由 ・手法	・資源物やごみを品目別に分別し、資源化を民営委託する事務 ・今泉クリーンセンターにピット前検査機を設置し、排出事業者や収集運搬事業者への啓発、指導を行う事業及びペットボトル、容器包装プラスチック、布団・畳の資源化を民間委託する事務 ・燃えないごみ、危険・有害ごみ等の資源化のための施設・設備の管理等に関する事務			
分別設備運営事業	2,369									
				今後の 方向性		理由 ・手法				
				今後の 方向性		理由 ・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	事業系ごみの発生抑制と資源物等の分別徹底。											
課題解決のための取組	事業系ごみの分別徹底を図るため、ピット前検査強化による分別状況が悪い事業者・許可業者への発生抑制・分別徹底の啓発活動・指導の実施。							取組の結果	■解 決 □未解決			
未解決の課題	平成27年度の年間ごみ焼却量29,923tの達成にむけた事業系燃やすごみの削減。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				①効率性 ○		②妥当性 ○		③有効性 ○		④公平性 ○	
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	資源物の混合割合を減らすべく、引き続き啓発活動を行っていくとともに、現在燃やすごみとして収集している製品プラスチックについて、資源化の方向性を検討する。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		A		
								※□事業完了				

評価者名

資源循環課担当課長

内海 春信

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
分別運営事業	資源物やごみを品目別に分別し、資源化を民営委託する事務等				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
		1211	普通旅費	74	78	○	○	○	○
		1211	ごみ散乱防止ネット等消耗品費	559	555	○	○	○	○
		1211	不燃ごみ資源化処理業務委託料	75,223	89,041	○	○	○	○
		1211	容器包装リサイクル協会再商品化処理業務委託料	1,911	1,807	○	○	○	○
		1211	木くず資源化処理業務委託料	5,250	6,549	○	○	○	○
		1211	紙類・布類収集運搬処理売却業務委託料	175,753	175,753	○	○	○	○
		1211	鉄屑等資源化処理業務委託料(名越)	3,535	3,439	○	○	○	○
		1211	鉄屑等資源化処理業務委託料(今泉)	2,322	2,247	○	○	○	○
		1211	フロンガス破壊処理業務委託料	59	59	○	○	○	○
		1211	廃乾電池・廃蛍光管資源化処理業務委託料	6,192	5,086	○	○	○	○
		※□	粗大ごみ処理手数料収納等事務委託料	1,123	1,404	○	○	○	○
		事業完了	粗大ごみシールJANコード更新料	11	11	○	○	○	○
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
分別運営事業 (政策)	今泉クリーンセンターにピット前検査機を設置し、排出事業者や収集運搬事業者への啓発、指導を行う事業及びペットボトル、容器包装プラスチック、布団・畳の資源化を民間委託する事務				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
		1101	廃棄物検査・指導員報酬 3人	9,072	5,787	○	○	○	○
		1101	廃棄物検査・指導員費用弁償 3人	756	569	○	○	○	○
		1101	データ購入費	183	0	△	△	△	△
		1101	ペットボトル中間処理業務委託料	26,373	26,980	○	○	○	○
		1101	容器包装プラスチック中間処理業務委託料	99,040	93,548	○	○	○	○
		1101	布団・畳処理業務委託料	10,011	7,617	○	○	○	○
		1101	自走式コンベアごみ投入検査機保守管理業務委託料	406	0	△	△	△	△
		1101	木くず資源化処理業務委託料	5,250	5,250	○	○	○	○
		※□							
	事業完了								
	小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
分別設備運営事業	燃えないごみ、危険・有害ごみ等の資源化のための施設・設備の管理等に関する事務				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
		1213	事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,028	○	○	○	○
		1213	事務補助嘱託員費用弁償	93	104	○	○	○	○
		1213	消耗品費	7	6	○	○	○	○
		1213	坂ノ下集積所維持修繕料	1000	303	○	○	○	○
		1213	不燃ごみ等搬出用トラックスケール賃借料	696	695	○	○	○	○
		1213	鹿嶋市環境保全協力金	192	233	○	○	○	○
	※□								
	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□									
事業完了									